



9/16 2年農業体験学習

河和田町にお住いの高和健一様から話を聞いたり、農業体験をしたりすることで、仕事をする事の大切さや意義について考えるよい機会になりました。なお、子供たちが真剣な顔でおだかけをしたり、稲刈りをしたりする姿から食料生産の大切さを学んでくれていることがよく分かりました。

実は、最初の予定は11日でしたが、雨のために延期しました。高和様は違う田んぼを用意してくださり、笑顔で迎えてくださいました。ご配慮に感謝いたします。本当にありがとうございました。

2の1外岡さん:おだかけなど、米になるまでにしないといけな作業がたくさんあり、お米を作っている人はとても大変ということが分かりました。なので、お米を食べるとき、お米を作ってくれた人たちに感謝して食べたいと思いました。

大宮さん:農業体験を通して、毎日食べているお米はいろいろな工夫がされてあったり、苦労したりしているんだと学びました。今日の体験を忘れずにこれからも、食べ物に感謝して食べるように心がけたいです。



2の2青山さん:米の収穫の大変さやどのように収穫されるのかなどについて学ぶことができました。普段食べている米の収穫の大変さなどを知ることができたので、感謝をもって食べたいと思いました。



鈴木(萌)さん:私たちがいつも食べているごはんは、農家の人がこんなにも大変な仕事をし、米ができているんだなあと改めて分かりました。これからは、ごはんを食べるときは感謝を込めていただこうと思います。

2の3今井さん:農家さんは数人でやっているの、大変そうだなと思いました。今日の農業体験を通して、お米一粒一粒を大事に残さず食べるようにします。作ってくださったことに感謝して食べます。



山本さん:農業はとても大変なことだと分かった。植物や動物の命をいただいていることを忘れず、植物・動物に感謝をもって食べたいと思った。

2の4米山さん:稲刈りの機械を見ると6,7本くらいを集め1つの束にしていました。機械の構造とかは簡単そうに見えたけど、人の知恵からグレードアップしていき、農作業の効率ももっと上がり、農業が発展していったら僕は嬉しいです。

四ツ谷さん:とても地味な作業だったけど、それがお米のおいしさにつながっていると感じました。大変な作業をしてくれる人がいておいしいご飯が食べられていると実感することができました。だから、残さずおいしく食べるのが大切だと思いました。



※ 今年の新人体育大会はコロナウイルス感染症拡大防止のため、保護者の皆様の観戦はできません。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

出場するお子様には、温かい励ましの言葉をかけて送り出してください。なお、赤中ホームページ上のブログ等で、様子や結果等を紹介しますので、どうぞ、ご覧ください。

新人大会参加のための提出物

- 1 当日朝提出
 - 健康チェック表及び参加同意書
- 2 大会後提出
 - 行動記録表